WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992　FAX.042-533-3993

Rotary 第2580地区

持続可能な
インパクトを
生み出そう

東京秋川ロータリークラブ
2026-27年度 4号

2026年7月30日
第2452回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	40	29	11	0	72.5%

本日のテーマ

夜間例会

前年度会長・幹事お疲れ様会 ＆ 新入会員歓迎会

次回以降のプログラム

8月　6日(木)　全員協議会
8月13日(木)　取りやめ(祝日のある週にて)
8月20日(木)　例会

第2451回の出席率訂正 会員40名　出席28名　メークアップ8名　欠席4名　免除0名　訂正出席率 90.0%

会長方針　思いやりを持って社会貢献し、友情を深めよう

令和8年7月30日(木)、第2452回例会は夜間例会として「前年度会長・幹事お疲れ様会＆新入会員歓迎会」を開催しました。第1部では通常例会を行い、第2部では懇親会を通じて前年度役員への感謝と新入会員の歓迎を会員全員で共有する、温かい雰囲気の例会となりました。例会は開会点鐘、ロータリーソング斉唱、会長報告、幹事報告など通常のプログラムに続き、第2部では2025-26年度の振り返り映像上映、前年度会長・幹事への記念品贈呈、新入会員挨拶などが行われました。

本日のお客様

・乙戸 勝代 様
・高橋 菜摘 様
・田中 順子 様
・柳　　千恵 様
・山下 由美子 様
・山田 祥子 様
・小林 容子 様

会長報告　町田 勝俊 会長

町田会長からは、7月28日(火)に発生した熊本地震により亡くなられた方々への哀悼の意と、被災された皆様へのお見舞いが述べられました。被災地の一日も早い復旧を願い、熊本地震およびベネズエラ地震への支援として募金への協力が呼びかけられました。また、「本日の夜間例会を皆さんで楽しみましょう」と挨拶があり、和やかな雰囲気の中で例会がスタートしました。

幹事報告　柳 新次 幹事

①8月27日(木)開催「鮎の塩焼き会」について
現在出席回答が少ない状況であり、多くの会員の参加を呼びかけるとともに、JC関係者や入会候補者、他クラブロータリアンへの積極的な声掛けについて協力を依頼しました。
②植松一良君の熊本での災害支援活動について
植松君が災害救助犬の活動に同行するため熊本へ出発されたこと、安全な活動を願うことが報告されました。また、熊本西南ロータリークラブへのメークアップを通じてクラブバナーの交換を行い、両クラブの交流が深まったことが紹介されました。

③2026-27年度RYLAセミナー受講生募集
18歳から30歳程度を対象としたRYLAセミナー受講生募集について案内があり、会員家族や社員、学生など候補者の推薦が呼びかけられました。
④ポリオ根絶チャリティー坐禅会後の懇親会について
11月4日（水）に開催される懇親会への参加案内と登録期限について説明がありました。
⑤不審メールへの注意喚起
実在するロータリアンを装ったLINEグループ作成依頼などの不審メールについて紹介があり、十分注意するよう呼びかけました。
⑥消防少年団支援デイキャンプ参加報告
当クラブが30万円を寄付した消防少年団支援デイキャンプへ参加し、地域に根差した活動の意義を改めて実感するとともに、今後も継続して支援していく思いが共有されました。
⑦次回例会・理事会の案内
8月6日（木）は全員協議会であり、例会終了後には理事会を開催することが案内されました。

――今週の感謝――
熊本で災害救助犬の活動に尽力されている植松一良君へ、クラブを代表して感謝と敬意が伝えられました。

――SAA委員会――　ニコニコ 発表

合計金額 12,000円

・町田 勝俊 会長・柳 新次 幹事
・田代 淳也 君
・栗原　剛 君
・沼田 哲史 君

懇親会

第2部では、2025-26年度の活動を振り返る映像を上映した後、山下前年度会長・高橋前年度幹事へ、町田会長・柳幹事から記念品が贈呈され、お二人から一年間を振り返ってのご挨拶をいただきました。

続いて、新入会員の田代淳也会員より力強い入会のご挨拶がありました。

歓談では、会員全員が一人ずつ山下前年度会長、高橋前年度幹事への感謝の言葉、新入会員への歓迎のメッセージ、そして退職された小林事務局への感謝の気持ちを伝えました。発言を終えた会員が次の会員を指名するリレー形式で進行し、会場は笑顔と温かな拍手に包まれました。それぞれの言葉には、この一年をともに歩んできた仲間への労いと、新たな仲間を迎える喜び、そして長年クラブを支えてくださった小林事務局への感謝が込められ、東京秋川ロータリークラブらしい絆を改めて感じる時間となりました。

編集後記 週報委員会 担当 乙戸 康博

終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができ、前年度役員への感謝と新たな年度への期待を全員で共有する、有意義な夜間例会となりました。